



ハイギアキット 取扱説明書

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。ご使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

商品番号：02-04-6011

適応車種及びフレーム番号

：Today (AF61/AF67)

：Dio (AF62/AF68)

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

～特 徴～

このギアキットは、ノーマルエンジン、Sステージキット、ハイパーSステージキットに使用出来るギア比を設定しています。ポアアップでは、増大したパワーを有効に使用出来、ノーマルエンジンでは最高速度を上げる事が可能です。又、ノーマルエンジンでは、ウエイトローラーを6個合計で約27.9gに変更すると若干のパワーアップが計れます。

注意

この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)

警告

この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

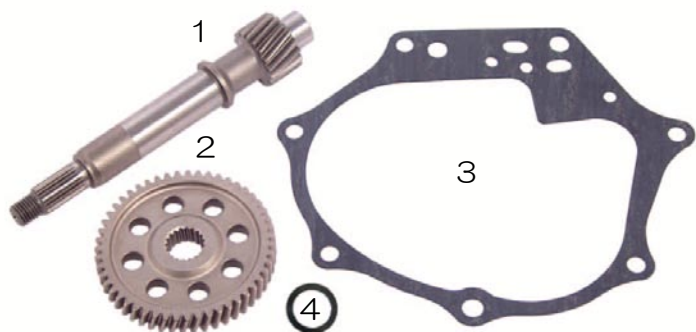
- ・技術・知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。(部品破損等の原因により、転倒・事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

～商 品 内 容～



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	ドライブシャフト	1		
2	カウンターギア	1		
3	トランスミッションカバーガスケット	1	21395-GFC-T00	1
4	ワッシャ 20×15×1.5	1	00-00-0535	1

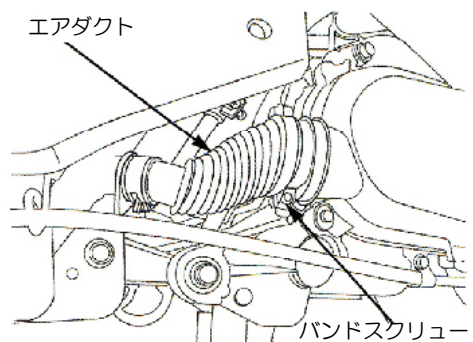
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませようお願い致します。

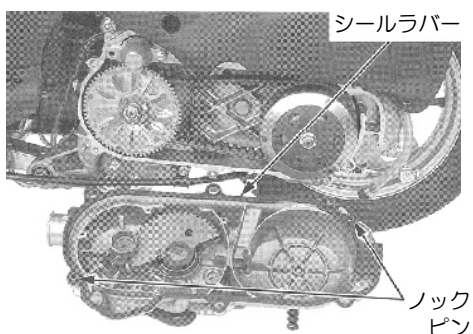
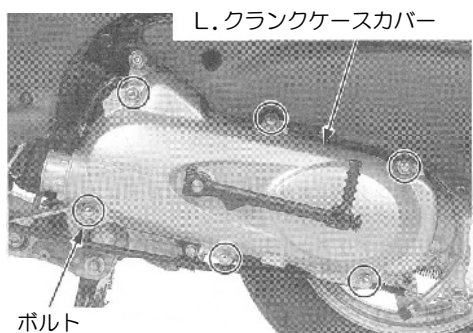
～取 り 付 け 要 領～

分解

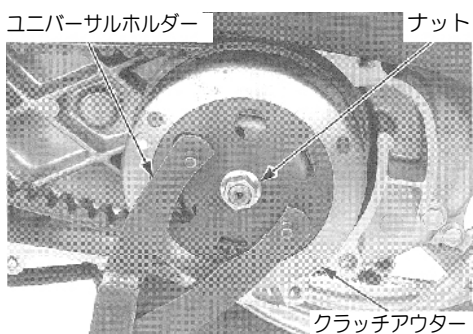
1. メインスタンドを立て車両を直立にします。
 L. クランクケースカバーにあるエアダクトのバンドスクリューを緩め、ケースカバーからダクトを取り外します。



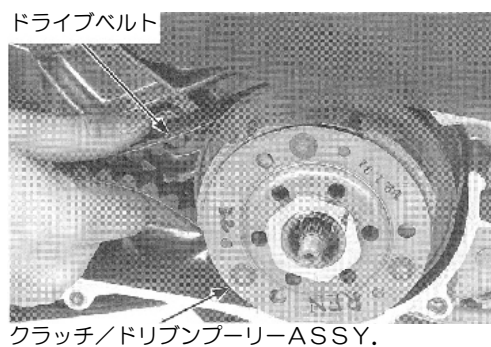
2. L. クランクケースカバーを固定しているボルト6本を外し、L. クランクケースカバーとシールラバーを取り外します。



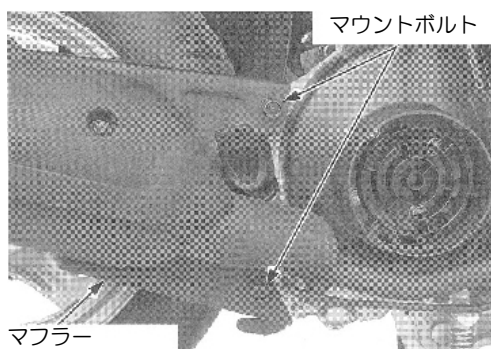
3. ユニバーサルホルダーを使用して、クラッチアウターを固定しているナットを外し、クラッチアウターを取り外す。



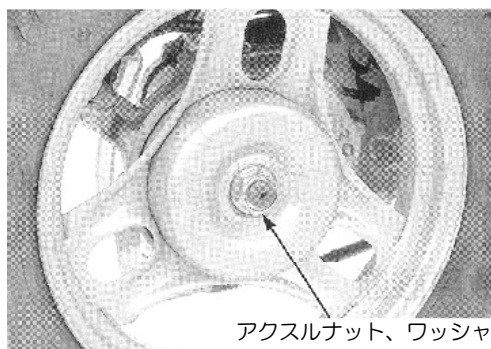
4. ドライブベルトを絞ってクラッチ/ドリブンプーリーASSY. とドライブベルトを取り外します。



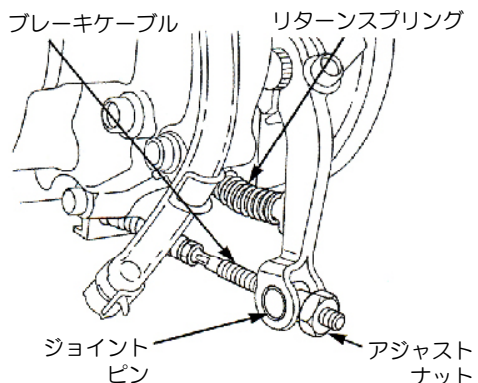
5. マフラーのジョイントナット2個とマウントボルト2本を外し、マフラーを取り外します。



6. リアホイールのアクスルナットとワッシャを外し、リアホイールを取り外します。



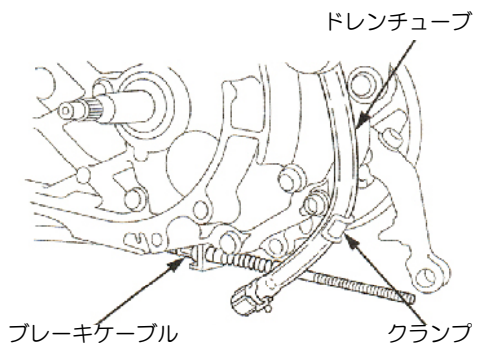
7. アジャストナットを外し、ブレーキケーブルをジョイントピンから取り外します。



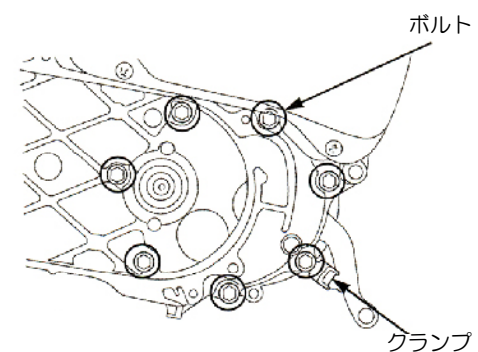
8. トランスミッションケースブリーザーチューブをエアクリーナーケースから取り外します。



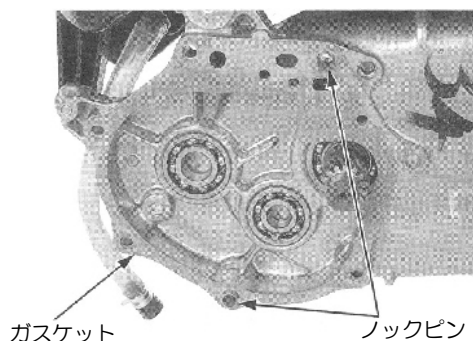
9. クランクケースブリーザーダレンチューブをクランプから取り外します。
 リアブレーキケーブルをトランスミッションケースから取り外します。



10. ミッションケースの下にオイルの受け皿を置きます。
 トランスミッションケースボルト7本とチューブクランプを取り外し、トランスミッションケースを取り外します。

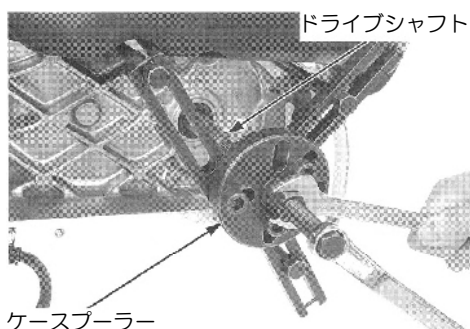


11. L. クランクケースからノックピン2本とケースガスケットを取り外します。

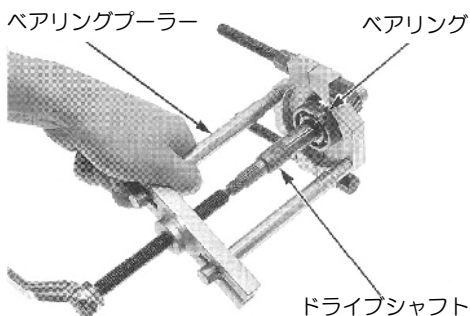


12. L. クランクケースにブーラーを取り付け、ドライブシャフトを取り外します。

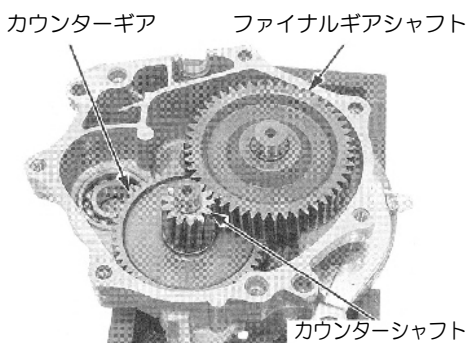
専用工具：ケースブーラー
(07SMC-0010001)



13. ドライブシャフト側にベアリングが残った場合、市販のベアリングブーラーを使用し取り外します。

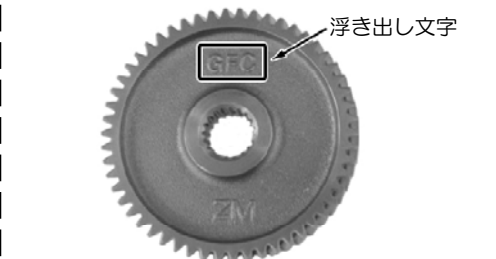


14. トランスミッションケースからファイナルギアシャフト、カウンターシャフト、カウンターギアを取り外します。



組み付け

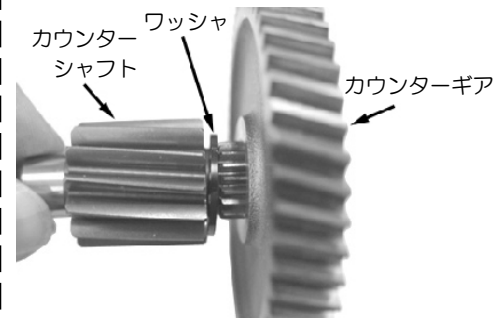
1. 車両備え付けのカウンターギアの浮き出し文字を確認します。



浮き出し文字が“GFC”の場合そのまま取り付けて下さい。

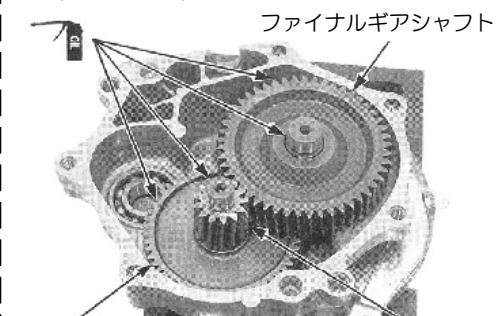
浮き出し文字が“GFH”の場合キット付属のギアと純正カウンターシャフトの間にキット付属のワッシャを取り付けます。

※取り付けの際、きちんとカウンターシャフトが組み付けられているか確認して下さい。



2. キットのカウンターギアのスプラインに合わせて、カウンターシャフトを取り付け、トランスミッションケースに取り付けます。ファイナルギアシャフトを取り付けます。

※各ギアとベアリング部にエンジンオイルを塗布して下さい。



3. キットのドライブシャフトをL. クランクケースのベアリング部に差し込み専用工具を使用し、ドライブシャフトを取り付けます。

専用工具

：アッセンブリカラー

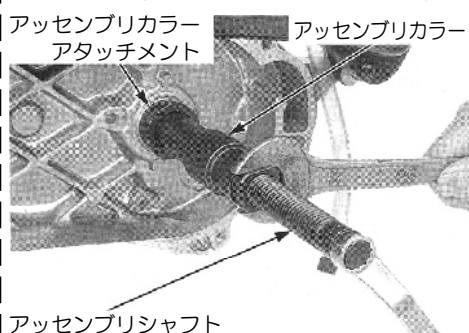
(07965-GM00100)

：アッセンブリカラーアタッチメント

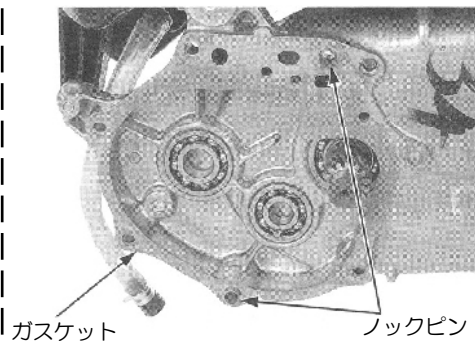
(07965-GM00200)

：アッセンブリシャフト

(07965-GM00300)



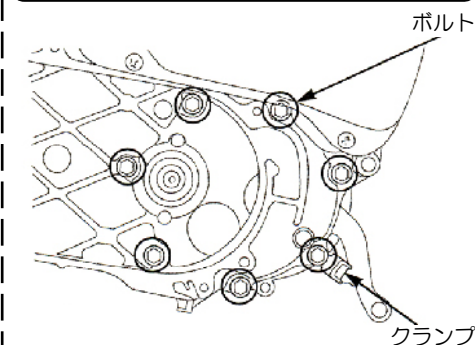
4. L. クランクケースにノックピン2本とキットのガスケットを取り付けます。



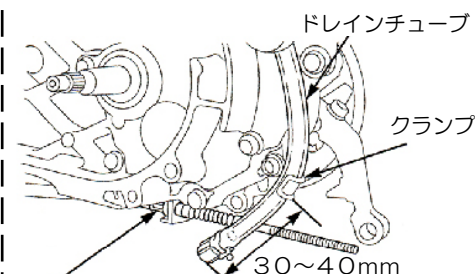
5. チューブクランプとトランスミッションケースボルト7本を取り付け締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：12N・m (1.2kgf・m)



6. ドレインプラグが図のようにクランプから30～40mmの位置になるように、クランクケースブリーザードレインチューブをクランプに取り付けます。リアブレーキをトランスミッションケースに取り付けます。



7. トランスミッションケースブリーザーチューブをエアクリーナーケースに取り付けます。



8. オイルチェックボルトを外し、ボルト穴の下端までオイルを注入します。
チェックボルトを取り付け、締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：13N・m (1.3kgf・m)

推奨オイル

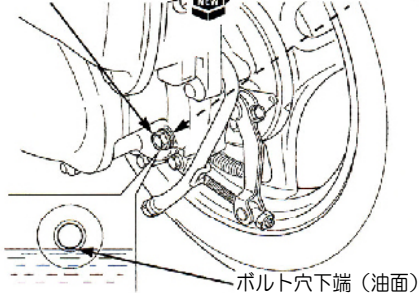
：ホンダウルトラU 10W-30

又は

API分類SJ級

SAE規格10W-30

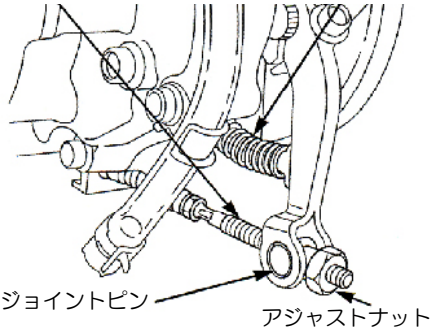
オイルチェックボルト シーリングワッシャ



ボルト穴下端 (油面)

9. ジョイントピンをブレーキアームに取り付け、ブレーキケーブルをジョイントピンに通してアジャストナットを取り付けます。

ブレーキケーブル リターンスプリング



ジョイントピン

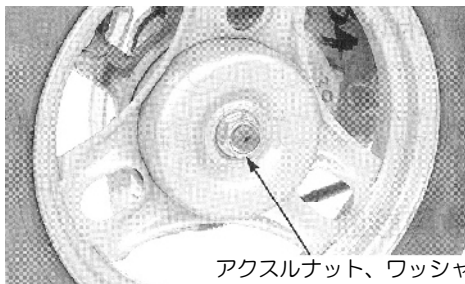
アジャストナット

10. リアホイールを取り付け、ワッシャを取り付けます。
アクスルナットのネジ部と座面にオイルを塗布し、ナットを取り付け締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：118N・m (12.0kgf・m)

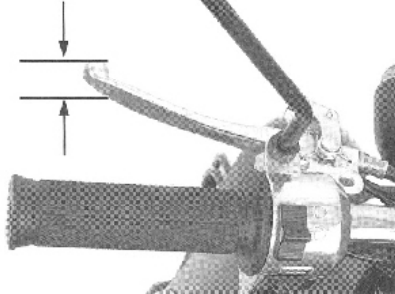
※ブレーキドラム内面及びブレーキライニングを脱脂して取り付けて下さい。



アクスルナット、ワッシャ

11. リアブレーキのアジャストナットを回し、リアブレーキの調整をします。
L. ブレーキレバー先端で遊びを確認します。
遊び：10～20mm

10～20mm



12. マフラーガスケットが取り付けられている事を確認しマフラーを取り付けます。
ジョイントナット2個とマウントボルト2本を取り付け締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

ジョイントナット

：10N・m (1.0kgf・m)

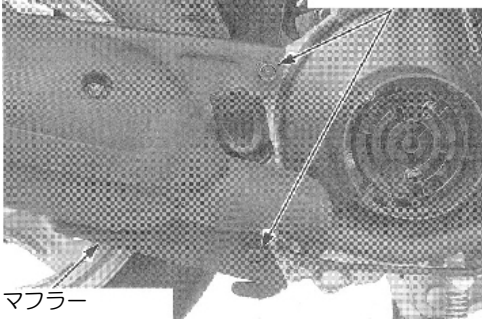
マウントボルト

：26N・m (2.7kgf・m)



ジョイントナット

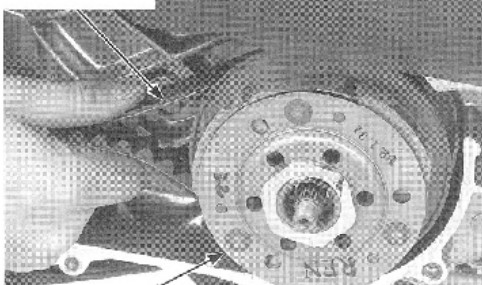
マウントボルト



マフラー

13. ドライブベルトをドライブプーリーに取り付け、ドリブンプーリーの溝を広げドライブベルトを取り付けます。
クラッチ/ドリブンプーリーASSY. をドライブシャフトに取り付けます。

ドライブベルト



クラッチ/ドリブンプーリーASSY.

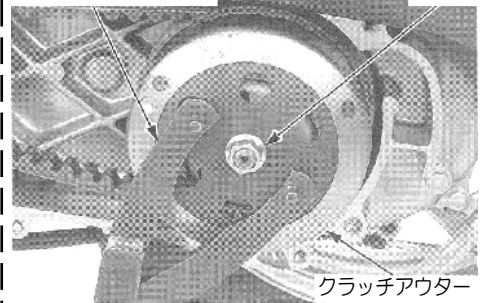
14. クラッチアウターとナットを取り付け、ユニバーサルホルダーを使用し、ナットを締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：39N・m (4.0kgf・m)

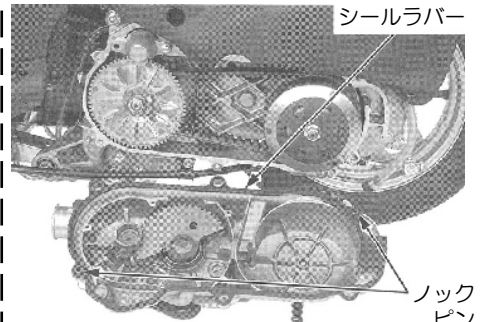
※クラッチアウター内面及びクラッチライニングを脱脂して取り付けて下さい。

ユニバーサルホルダー ナット



クラッチアウター

15. シールラバーをL. クランクケースカバーの溝に取り付けます。
ノックピン2本を取り付けます。



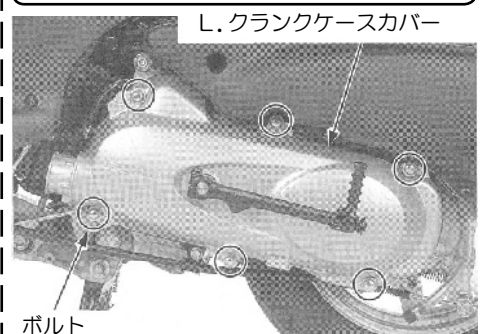
シールラバー

ノックピン

16. L. クランクケースカバーを取り付けボルト6本を対角に数回に分けて締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

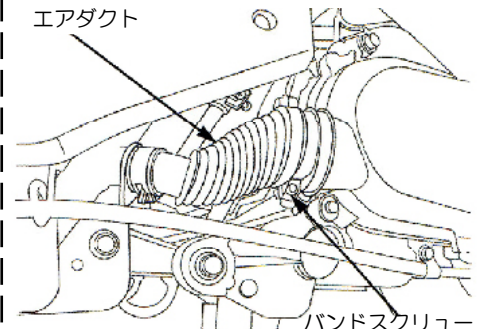
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



L. クランクケースカバー

ボルト

17. エアダクトをL. カバーに取り付け、バンドスクリューを図のように下に向け締め付けます。



エアダクト

バンドスクリュー

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>

株式会社 スペシャルパーツ 大川